セイノー（グループ1）

第12回ミーティング

水平線 

2020 年 1 月 28 日 / 午後 17 時 00 分 - 午後 18 時 00 分/

# **参加者**

新藤　康喜,都　勇志,小山田　健一,李雨潤（LI YURUN）,前田　翼,後藤　圭太

# **議題**

1. タスク確認
   1. 新藤さん：直線距離のみの最適化
      1. 配達箇所が多いほど削減の余地があるがすべてでない
      2. 個々の配達先が固まっていると削減の余地が少ない
      3. 配達先が多いと最適化が近似解の分削減量が少ない可能性あり
   2. 小山田さん：ドライバー削減段階的に上昇
      1. 19人,20人の比較→最大距離のドライバーが同じ配達ポイント
      2. 少し離れた配送点を含むクラスターに左右される
   3. 後藤：
      1. 配達先が10以下、11~19,20以上で評価値の平均が大きく異なる
      2. 画像上では同じルートを通っていても評価値が0ではない物がある
      3. （評価値の差があっても画像だけで判断しにくい）
   4. 前田さん：他の論文調査
      1. なぜ今回の論文を選んだか再度調査、他の論文はとても専門的だった。
      2. 説明スライド1枚追加するかな
   5. 都さん：
      1. カッパー計数使えるのではないか→おそらく使えない
      2. カッパー計数の例の二人の医者の診察の一致率と今回のルートの一致率には似た例が見つからなかった
   6. Liさん：
      1. 配達予定時間をどうしてもすぎてしまう拠点がある
      2. 0が配達予定時刻を守れていない、1が守れている
      3. 元データ、直線距離、配達予定時刻を考慮した配達時間は計算してある
2. 最終報告会資料作成担当決め
   1. 教員報告と同じ担当者が同じ担当分を作成（新藤、前田、後藤）

# **次回ミーティング日時(未定)**

1月　30日　18時　00分～(資料合わせ)

レポート作成のためのミーティング（調整さんで決定）

# **次回までのタスク**

新藤、前田、後藤：資料作成

Li：データ整理